別表第十六号様式(第53条関係)

※整理番号	

船舶局無線従事者証明申請書

年　　月　　日

総務大臣　　殿

郵便番号　□□□―□□□□
住　　所
電話

収入印紙

氏　名	フリガナ	
	漢　字	

生年月日	年	月	日

長　船舶局無線従事者証明を受けたいので、無線従事者規則第53条の規定により、(別紙書類を添えて)申請します。

1 現に有する資格	資格	免許証の番号	免許の年月日	
2 合格した国家試験の資格	資格	受験番号	合格年月日	
3 修了した養成課程の資格	資格	修了証明書の番号	実施場所(市町村名)	修了年月日
4 訓練の課程の修了の有無及び年月日	有(　　年　　月　　日修了)　　無			
5 船舶局無線従事者証明の取得の有無	有　　無			
6 添付書類	□訓練の課程を修了したことを証する書類			
7 備考				

※証明年月日	※証明の効力の始期	※発給年月日

辺　　短　　辺　　(日本産業規格A列4番)

注1　※印の欄は、記入しないこと。

2　氏名の欄は、次により記入すること。

(1)　枠内に左詰めとし、片仮名及び漢字で正確に記入すること。

(2)　ヰ、ヱ、ヲは、イ、エ、オと記入すること。

(3)　濁点及び半濁点は、1枠を使用して記入すること。

(4)　姓と名との間に空欄を1枠設けること。

（記載例）

氏名	フリガナ	ス	ス゛	キ		イ	チ	ロ	ウ											
	漢　　字	鈴	木		一	郎														

3　生年月日は、次により記入すること。

(1)　年号は、明治はM、大正はT、昭和はS、平成はHと記入すること。

(2)　年月日のいずれかの数字が1けたの場合は、当該1けたの数字の前に0を付して2けたにして記入すること。

（記載例）　昭和42年5月1日生の場合

生　年　月　日			年		月		日
	S	4	2	0	5	0	1

4　1の欄は、現に有する施行規則第34条の11に規定する無線従事者の資格について記入すること。

5　2の欄は、施行規則第34条の11に規定する無線従事者の資格を有しない場合であって、これらの資格のうち現に国家試験に合格しているときに、その国家試験の資格について記入すること。

6　3の欄は、施行規則第34条の11に規定する無線従事者の資格を有しない場合であって、これらの資格のうち現に養成課程を修了しているときに、その養成課程の資格について記入すること。

7　4の欄は、法第48条の2第2項第2号の認定を受けた訓練の課程を修了しており、その修了した日から5年を経過していない場合には有の文字を○で囲むとともにその修了の年月日を記入し、その他の場合には無の文字を○で囲むこと。

8　5の欄は、その証明の効力を失い、その失った日から2年を経過していない場合には有の文字を、その他の場合には無の文字を○で囲むこと。

9　6の欄は、法第48条の2第2項第2号の認定を受けた訓練の課程を修了したことを証する書類を添付した場合に、□にレ印を付すこと。

10　7の欄は、5の欄の有の文字を○で囲んだ場合に交付されていた証明書の番号及びその証明の効力を失った日を記入すること。

11　証明書の郵送を希望するときは、郵便切手をはり、申請者の住所の郵便番号、住所及び氏名を記載した返信用封筒を添えて申請すること。この場合において、封筒は証明書1通を封入しうるものとし、郵便切手はこれを内容とする郵便物の郵便料金に相当するものとする。